



ノート（メモ）アプリの危険性

昨年末から今年にかけて長野県内で発生したインターネットバンキングの不正送金事犯の手口を調べたところ、多くの被害者が、スマートフォンやタブレット端末で利用されているノート（メモ）アプリにID・パスワードを保存していたことが判りました。

アプリに保存した情報が盗み見られた可能性があります。

何れも同じノートアプリを使用しており、海外の事業者が提供するものです。

世界的に有名なアプリで、国内利用者も多く、不正なアプリではありませんが、適切に利用しないと情報漏洩の危険があります。

ノートアプリの特徴

テキストや手書きのメモ、写真、音声、ウェブサイトの記事などの情報を記録して保存するアプリで、メモアプリとも呼ばれています。

スマートフォンでノートアプリを使えば

思いついた時に情報が残せ、時間や場所に関係なく閲覧でき、写真や動画を撮っておけば、後から情報を引き出すのも簡単

等のメリットが考えられます。

ノートアプリのほとんどは、無料で利用できますが、より高機能を求めて、有料版にアップグレードすることもできます。

ノートアプリの中には、**情報が自動的にクラウドに保存され、他の端末と同期**が簡単にでき、**他のユーザと情報共有**できるものもあります。



被害に遭わないために

昨今、テレワーク勤務が推奨される中、ノートアプリは、その便利さから、個人的使用に留まらず、業務データを扱ったり、仲間同士で情報共有する方も多いのではないのでしょうか。

今回は、ノートアプリについて説明しましたが、クラウドにデータを保存するアプリは他にも多数あり、使い方を誤ると情報漏洩が生じ、既に被害が潜在化しているかもしれません。

こうしたアプリは、便利な反面、セキュリティリスクがあることを意識し、適切な利用を心掛けて下さい。

- ☑ アプリのセキュリティ対策機能（2段階認証等）は、有効化して利用する。
- ☑ 端末同期、情報共有の設定は、細心の注意を払う。
- ☑ ダウンロードして不要になった情報は、クラウドから削除する。
- ☑ クラウドに残す情報には、パスワードをかける。（暗号化）



～ コラム ～

今年3月、長野県警察では、サイバー犯罪の捜査力強化を図るため、生活環境課サイバー犯罪対策室を改組し、サイバー犯罪捜査課を新設しました。